

入場無料

〈事前申込不要〉

アートリエ

vol.10

ラウンジ・コンサート

指揮者や音楽監督として世界で活躍する大山平一郎氏のコーディネートによる室内楽の無料コンサートを開催します。プロの音楽家による演奏を間近で大山氏による解説とともにお楽しみください。

とき **2016.10.28(金) 19:00** 開演

ところ **福岡アジア美術館 彫刻ラウンジ**
(福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7階)

出演

原 雅道	第1 ヴァイオリン
大山 佳織	第2 ヴァイオリン
大山 平一郎	ヴィオラ
原田 哲男	チェロ

プログラム

ブラームス 弦楽四重奏曲 第3番 変ロ長調 作品67
グリーグ 最後の春かな

やむを得ない事情により、
出演者・プログラムが変更となる場合がございます。

お子様もご参加いただけますが、
他のお客様の鑑賞の妨げとならないよう
ご配慮願います。

◎主催：(公財)福岡市文化芸術振興財団、福岡市

◎共催：福岡アジア美術館

◎平成28年度福岡市民芸術祭参加

お問い合わせ **文化芸術情報館 アートリエ**

〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7階(福岡アジア美術館内)

TEL 092-281-0081 FAX 092-281-0117 WEBアートリエ <http://artlier.jp/>



アトリエ ラウンジ・コンサート

演奏者
プロフィール

vol.10

原 雅道 第1 ヴァイオリン

国立音楽大学卒業と同時に新日本フィルハーモニー交響楽団に入団。室内楽の演奏会などに多数出演。他のプロオーケストラ及び室内合奏団のゲストコンサートマスター、ゲストトップ奏者として多数招かれている。クラシック音楽以外の活動も多く様々なジャンルのアーティストとのCDレコーディングやライブ活動、及びTV、映画音楽やコマーシャル等のスタジオワークに参加。服部克久率いる東京ポップスオーケストラメンバー。また各地の大学、市民オーケストラや後進の指導にも当たる。ヴァイオリンを諏訪晶子、徳永二男、室内楽をヘルムート・バルト、デビッド・テイラーの各氏に師事。2007年より九州交響楽団アシスタントコンサートマスター、2012年4月より九州交響楽団アソシエートコンサートマスター、2016年4月より九州交響楽団コンサートマスター就任。

大山 佳織 第2 ヴァイオリン

北九州市出身。ヴァイオリンを篠崎英育、数住岸子、太期晴子各氏に師事、東京音楽大学入学後は、篠崎功子教授に師事。読売新聞社主催北九州市音楽祭ヴァイオリン・コンクールにおいて第2位入賞、毎日新聞社主催ヴァイオリン・コンクール西部大会高校部門で優勝、同年、福岡銀行本店ホールで優勝者記念演奏会で演奏。1992年九州交響楽団入団。1993年日本演奏家連盟主催新人演奏会で九響と共演する。1994年と1998年にアフィニス文化財団主催の音楽セミナーに参加。1995年から2007年まで室内楽“アンサンブル MUTU”のメンバー。2007年にピアニスト石井克典氏と福岡でデュオ・リサイタルを催す。現在、九州交響楽団第一ヴァイオリン首席奏者。

大山 平一郎 ヴィオラ

アメリカ・サンタバーバラ室内管弦楽団音楽監督兼常任指揮者。CHANEL Pygmalion Days 室内楽シリーズ アーティストティック・ディレクター。Music Dialogue 代表。京都生まれ。両親共に博多出身。1979年にカルロ・マリア・ジュリーニが率いるロサンゼルス・フィルハーモニックの首席ヴィオラ奏者に任命された後、指揮の勉強を始め、1987年アンドレ・プレヴィンに同楽団の副指揮者に任命される。1999年から5年間、九州交響楽団の常任指揮者。2003年に30年にわたるカリフォルニア大学教授を終える。2004年から2008年まで大阪交響楽団音楽顧問・首席指揮者。2007年から3年間ながさき音楽祭音楽監督。2005年に“福岡市文化賞”を受賞。2008年文化庁の“芸術祭優秀賞”を受賞。2014年“サンタバーバラ市文化功労賞”を受賞。

原田 哲男 チェロ

桐朋学園大学在学中の1990年に蓼科高原音楽祭奨励賞受賞。同大学卒業後から2年間ドイツのマインツ大学音楽学部に学ぶ。1997年からは米国ダラス市の南メソジスト大学より奨励金を得て、同大アーティストディプロマコースに入学、同年夏「チェロアンサンブルサイトウ」のメンバーとして日本、ヘルシンキ及びサンクトペテルブルグの世界チェロコンgresに出演。1999年から2012年9月末まで仙台フィルハーモニー管弦楽団首席チェロ奏者を務める。その間、仙台フィルメンバーによるセレーノ弦楽四重奏団のメンバーとして、またプラハ放送交響楽団宮城公演のソリストとして起用されるなど、仙台市を拠点にソロ、室内楽等多彩な活動を行った。森川諄一、木越洋、ユリウス・ベルガー、岩崎洗、クリスティアン・ギガー氏（ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団第一ソロチェリスト）に師事。2013年5月から2016年4月末まで九州交響楽団首席奏者を務め、現在はフリーのチェロ奏者として福岡を拠点に、ソロ、室内楽、後進の指導など幅広く活動を展開している。